

令和7年度第1回北杜市小淵沢エリア振興ビジョン推進会議 議事録

1. 会議名：令和7年度第1回北杜市小淵沢エリア振興ビジョン推進会議
2. 日時：令和7年8月18日（月） 午前10時～
3. 場所：北杜市役所北館3階 大会議室
4. 出席者：

【委員】茅野秀明・進藤忠衛・中山宏樹・渡邊聡尚・望月和彦・山内一寿・
小谷壮之・高橋怜央・山下美帆・河野明・小林宏行・相川忠仁・
吉野正則・大芝一・加藤郷志・齊藤乙巳士・渡辺美津穂

【関係者】大山勲（オブザーバー）

【事務局】宮川勇人政策調整官・進藤修一政策推進課長・篠原振一郎政策調整担
当リーダー・大久保裕斗政策調整担当
5. 内容
 - (1) 開会
 - (2) 委任状・任命書の交付
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 委員及び職員紹介
 - (5) 会長及び副会長の選出
(北杜市小淵沢エリア振興ビジョン推進会議設置要綱第5条に基づき、
会長に山内委員、副会長に渡邊委員を選出)
 - (6) 会長挨拶
 - (7) 議事
 - ①小淵沢エリア振興ビジョンの概要及び推進体制について
 - ②進捗状況について
 - ③その他
 - (8) 閉会
6. 公開・非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：11人

議 題

①小淵沢エリア振興ビジョンの概要及び推進体制について

事務局：小淵沢エリア振興ビジョンの概要及び推進体制について説明。

委 員：質疑なし。

②進捗状況について

事務局：進捗状況について説明。

委 員：馬のまち小淵沢活性化協会について説明。

やまなし観光推進機構担当者：

令和7年度「冬の誘客促進に向けた取組への支援」について説明。

委 員：質疑なし。

③その他

委 員：北杜市は昔から馬と関りが強い土地である。流鏝馬については武田信玄の先祖であり、弓馬の達人であった新羅三郎義光が原型になったと考えられている。また、流鏝馬の流派である武田流、小笠原流のどちらも武田家と関連が深いと言われている。そういった経緯もあるため、流鏝馬専用の練習場を作っていただきたい。

県営牧場については、これまで活用されていなかったため、馬や牛を放牧し、観光客に来ていただくような活用策も必要ではないか。広々とした空間で馬がのびのびとしている様子が絵になるのではないかと考える。

また、場外馬場（ホーストレッキング）が非常に人気であるが、初心者が場外に出るのは危険であると考えている。そのため、場外馬場や車の運行に関するルールを作っていただくとともに、馬の通行に関する注意看板の整備もお願いしたい。

その他、小淵沢エリアには、大河ドラマの撮影等の馬術指導の第一人者が運営する乗馬クラブもあるが、近くにロケ地がなく、遠方に馬を連れて撮影に向かう必要があり、非常に負担が大きくなっている。そのため、県営牧場をロケ地として誘致していただきたい。

会 長：流鏝馬専用の練習場の建設、県営牧場を観光地とする施策、馬の通行に関するルール等整備、県営牧場への大河ドラマのロケ地誘致の4点について意見をいただいた。これらについては、今後プロジェクトチーム内で協議するこ

としたいが、いかがか。

委員：意義なし。

オブザーバー：

景観については、サイン等のものを作るだけでなく、時間をかけて作り上げていく必要がある。軽井沢では100年かけて景観づくりに取り組んでいる。北杜市も景観計画が策定されたが、まだ本格的には取り組まれてはいないものと考えている。規制で強く縛っても良いものはできない。デザイン指針の提案や良い景観を作り出している方を表彰する等、様々な手法が考えられるが、これらは行政が中心に取り組む必要がある。これらも含めてプロジェクトチームで協議していただきたい。また、地域住民の意見をどのように収集するのも大事になると思われる。

会長：オブザーバーから助言をいただいた。軽井沢の例も参考にしながら、小淵沢エリアの景観形成について、将来にわたって品格のあるエリアとなるようにチーム内で協議いただきたい。

以上